

西洋政治思想史Ⅱ 学期末試験問題（60 点満点）

I 知識問題（15 点） 以下の空欄に適切な語句を入れてください（各 1 点）

1 中東地域に起こったキリスト教は、ローマ市民権を持っていた使徒 **1 パウロ** の布教活動を機にローマ帝国全体に広がっていった。『神の国』を書いた **2 アウグスティヌス** は、ローマ帝国が解体する中、地の国と対比した神の国について論じた。中世を通じてキリスト教の改革運動がおこり、たとえばアッシジの **3 フランシスコ** が設立した **3 フランシスコ** 会は清貧の思想に基づいて活動した。教会の腐敗が問題となる中、イギリスの **4 ウィクリフ** は聖書の英語訳を通じて教会改革を唱えた。スコットランド出身で 17 世紀初頭にイギリスの君主となった **5 ジェームズ 1 世** は王権神授説を唱え、議会と対立した。

2 ホッブズはイングランド内戦期に『 **6 リヴァイアサン** 』を著し、主権者への絶対服従を説いた。モンテスキューは『 **7 法の精神** 』において権力分立論を展開した。アダム・スミスは『 **8 諸国民の富（or 国富論）** 』において自由な貿易体制を推奨した。ルソーは『 **9 人間不平等起源論** 』において人類がどのようにして不平等な社会を築き上げてきたのかを説明し、『 **10 社会契約論** 』において人民主権に基づく政治体制の樹立を唱えた。

3 アメリカ合衆国憲法の制定時、代議制・連邦制に基づく憲法案を擁護した『 **11 ザ・フェデラリスト** 』はアメリカ政治学の古典となった。フランス革命の際、フランスの **12 シェイス** は『第三身分について』を著し、特権身分の一掃を主張した。他方、イギリスの **13 バーク** は『フランス革命の省察』を著し、抽象的理論に基づき旧来の政治社会を破壊する試みとしてフランス革命を批判した。フランス革命が国際戦争を引き起こす中、ドイツの哲学者 **14 カント** は『永久平和論』を著し、共和政の国々による国際平和の確立を展望した。当時としては稀な女性の政治思想家 **15 スタール（or スタール夫人）** は、フランスにおいて平等とメリトクラシーを両立させた共和政の樹立を唱えた。

II 論述問題（45 点）

1 社会契約論について、以下の 10 の語句を用いて 500 字程度で論述をしてください。語句は一つ適切に使うごとに 1 点（使う順番は自由。10 点満点）、論述の質に応じて最大 5 点を加点します（15 点満点）

ホッブズ、ロック、ルソー、万人の万人に対する戦争、主権、宗教、自由、労働、法律、道徳的自由

<解答例>

ホッブズによれば、人々は本性的に利己的であり、同時に殺傷能力において互いに平等であるため、お互いに対する恐れから、万人の万人に対する戦争へと向かってしまう。この悲惨な状態を回避するために、人々は率先して絶対的権力——主権——を樹立し、これに服従するという社会契約を結ぶはずであり、宗教もこの主権に従わなければならないとされる。これに対して、ロックによれば、人間は、限られた資源を奪い合うのではなく、労働によって他者を害することなく資源を増やすことができるため、本性的に共存する能力を持っており、したがって政治権力は必要であるが、それは、信仰の自由も含めた個々人の自由を保障する限りで正統であるとする。ルソーは、ホッブズと同様に、人間が本性的に利己的であることを認めるが、同時に、ホッブズのように死への恐怖から政治権力の設立を説明するのではなく、道徳的自由——人が己の意志にのみ従う状態——の実現を社会契約の目的とした。道徳的自由は、人々が平等かつ自由に投票して制定した法律にのみ従うような政治共同体の設立によって実現される。

<解説>

・語句群から判断して、本問の解答型は、社会契約に対するホッブズ、ロックならびにルソーの見解の比較、になります。

・宗教、労働、法律といった一般的な語も含まれているので、たんにこれらを使用するだけでなく、適切な文脈で使用しなければ、得点にはなりません。また社会契約、主権、道徳的自由などは、説明を擁する語句ですので、内容を説明する必要があります。もちろん、これらの語句の意味は論者によって異なります。

・大きな比較軸としては、社会像の問題（社会的共生能力の有無：ホッブズ・ルソーvs ロック）、社会契約の目的（ホッブズは戦争回避、ロックは秩序の安定化、ルソーは道徳的自由の実現）、などがあります。

2 近代ヨーロッパにおける古代・近代比較論について、以下の 10 の語句を用いて 500 字程度で論述をしてください。語句は一つ適切に使うごとに 1 点（使う順番は自由。10 点満点）、論述の質に応じて最大 5 点を加点します（15 点満点）

マキャヴェリ、モンテスキュー、ルソー、コンスタン、共和政、君主政、代議制、商業社会、傭兵、宗教

<解答例>

マキャヴェリは、キリスト教の普及以後のヨーロッパを近代、それ以前のギリシア・ローマを古代とし、二つの時代を比較した。彼によれば、古代世界は、共和政、市民軍、政教一致といった点で、君主政、傭兵軍、政治権力と宗教権力の並立・競合を特徴とする近代世界よりも優れている。これに対して、モンテスキューは、民衆の政治参加が盛んで好戦的な共和政、および商業の未発展を特徴とする古代世界よりも、君主政の諸国家の下で、国際平和と商業発展が実現され、政治活動は代議制によって一部のエリートに委任された近代世界（商業社会）の方が優れているとした。ルソーは、商業発展に伴う社会的不平等の深まり、君主政・代議制の下での市民の政治的無関心、この無関心を助長するキリスト教の来世優先論といった点で近代世界を糾弾する一方で、好戦的で人間愛に欠けた古代世界に対しても批判的であった。コンスタンは、国際平和と人間愛の普及という点で近代・商業社会を支持する一方、この社会が寡頭制や道徳的腐敗に傾くリスクも指摘し、宗教や政治参加に支えられた道徳心の育成という観点から、最終的に古代アテナイの民主政を好意的に評価するようになった。

<解説>

・本問は 4 人の古代・近代論を比較するという論述になります。4 人の議論を短い論述でまとめるためには比較の軸をはっきりさせておく必要があります（4 人の古代・近代論それ自体については、それぞれ様々な観点から説明することができますが、本問では、字数制限との関係で、共通項・比較軸を絞る必要があります）。

・共通項・比較軸は語句群によって示唆されています：共和政 vs 君主政、代議制（政治参加）、傭兵（軍事参加）、宗教。

3 近代ヨーロッパにおける政治と宗教の関係について、以下の 10 の語句を用いて 500 字程度で論述をしてください。語句は一つ適切に使うごとに 1 点（使う順番は自由。10 点満点）、論述の質に応じて最大 5 点を加点します（15 点満点）

マキャヴェリ、ルター、カルヴァン、ホッブズ、ルソー、領邦教会、市民宗教、不寛容、フランス革命、教会財産の国有化

<解答例>

マキャヴェリは、キリスト教会が政治に干渉し、政治・社会を混乱させていると批判し、宗教権力が政治権力に従っていた古代世界を賞賛した。ルターは、信仰は信者と神の内的な関係に関わるものであり、この関係を害さない限りで、政治は世俗権力に一任されるべきだとし、領邦教会制を主張した。逆にカルヴァンは、真正な信仰の実現のためには、政治権力が教会権力の指導下に置かれなければならないとした。ホッブズは、カルヴァンとは逆に、宗教権力こそが世俗権力の指導下に置かれるべきだとしたが、本性的に神・来世を根拠に政治権力に反抗しやすいキリスト教を本当に従わせられるのかという難問に直面した。ルソーは、人々が社会的に共生するために不可欠な基本的道徳を維持するためには、そうした道徳を命じる神の観念を中核とする市民宗教が必要だとする一方、道徳とは独立に、信者の不幸を慰藉するための宗教は必要であるとし、他宗派への不寛容を説かない限りで諸宗派の信仰の自由は尊重されるべきとした。フランス革命中のフランスでは、聖職者の公選制、教会財産の国有化、教会の社会福祉・教育面での役割の否定が行われ、政治権力に対する教会の従属化が生じた。

<解説>

・五人の宗教政策論（さらにはフランス革命期の宗教政策）を短くまとめる必要上、本問も問3と同様、比較軸をはっきりさせて論述を行う必要があります。しかし、問3とは異なり、本問の比較軸はストレートには示されておらず（その意味で問3よりも難問です）、講義で習ったことを基にして、自分で比較軸を定める必要があります。

・比較軸が、政治権力と宗教権力の関係であることはひとまず明らかですが、もう少し明確化すると、①一方の権力を他方の権力に従属させるのか（マキャヴェリ、カルヴァン、ホッブズ、フランス革命）、それとも②両権力のバランスを考慮するのか（ルター、ルソー）という対立軸があります。少し難しいですが、この点を捉えられていれば、ほぼ満点となるでしょう。解答例は時系列に沿った論述ですが、①と②に大別して、それぞれについて説明するという論述も可能で、その方が論旨は明確になるかもしれません。

・①の場合は、宗教の政治的悪用（マキャヴェリ、ホッブズ）、あるいは宗教的恐怖政治・狂信（カルヴァン）のリスクがありますが、②の場合も、信仰の自由（ルター）や不寛容（ルソー）の規準をどのように、そして誰が定めるのかという問題が残ります。②の問題は、イスラム教のスカーフ問題や、日本の統一教会問題でも明らかなように、今日においても理論的に未解決の難問です。